



にぎわう千住大学エキジビションの会場

現実と象徴とたぎる『私の旅』 初の千住大学エキジビション

「千住に大学創立、そして私も大学生です。4月に開校して翌月にはもうエキジビションのすさまじさ」と、一期生が作文に書いた初の千住大学エキジビション「私の旅」は、5月16日から3日間、足立区千住遊学庵（千大教室）で開かれ、10点の10〜50代の個性的な旅が世に問われた。初日は、他のイベントの人たちも参観して満員だった。

「愛敬」も捨てがたい。

「たぎらせよう、初の千大エキビ」「私の旅」

学長 酒井憲一

い輪廓の逸品
買った御猪口で蔵元で利き酒した。

「私の旅」
英会話の講師、ツアーコンダクターの資格、千住大学登校。チャレンジャー。

「私の旅」
旅の楽しみ方は、裏路地入ること。エルサルバドルにて、キューバにて。

「one is all」
赤ちゃんがピラミッドより大きく、私がちっちゃく写る。旅は人に地球を与える。

「雪着物 総出のさよなら」
旅の極上は、裏切られ方にある。たかをくくっていった旅先で、極め付きのもてなしを受けたとき、和倉温泉の加賀屋のこと。

「見本の」
旅で知った人見知りの

「私の旅」
旅の思い出は、印象を昇華させる文章で極められる。それが、画像と行間の音楽と協奏して、ここに公開された。第1回千大エキビ「私の旅」をたぎらせよう！

1 「色いろの旅」
私の旅は、いつも「色いろ」。そのひとつロンドンの連続する店の色！

2 「高校2年生の夏おとな抜きの初旅」
原爆の長崎。過去を知り、世界に興味をもつ。

3 「青春18きっぷ あくのはそ道の旅」
薄明、駅から雪舞う出雲崎まで歩く。「荒海や佐渡に横たふ天の河」句しじみと……。

4 「戦国武将の栄華の跡をたずねて」
権力の象徴である城を見て歩く事が何故か好き。

5 「故郷に帰る道すがら」
地球にいる限り旅。ホームステイ先は日本。故郷の星は？

6 「私の宝物 絵では想像できない」
輪廓の逸品
買った御猪口で蔵元で利き酒した。

7 「私の旅 長谷川 真美」
英会話の講師、ツアーコンダクターの資格、千住大学登校。チャレンジャー。

8 「私の旅」
旅の楽しみ方は、裏路地入ること。エルサルバドルにて、キューバにて。

9 「one is all」
赤ちゃんがピラミッドより大きく、私がちっちゃく写る。旅は人に地球を与える。

10 「雪着物 総出のさよなら」
旅の極上は、裏切られ方にある。たかをくくっていった旅先で、極め付きのもてなしを受けたとき、和倉温泉の加賀屋のこと。

11 「見本の」
旅で知った人見知りの

内容多様。「世の中にはまだまだ自分の知らない多くの世界、多様なものごとの見方、捉え方があるのだということを知った」という若い学生の総括がみずみずしくあった。
「たぎらせよう、初の千大エキビ 大学も人生の旅路である。さらにいえば、人生そのものが旅である。旅の思い出は、印象を昇華させる文章で極められる」。
80歳学長のメッセージである。それを中心にして、100円ショップへ買いに行った額入りで見栄えした作品の多彩ぶりは、「歩幅も目の高さも、外見では皆同じようなものだが、それぞれ文章にする」と、まったく別な感想を得た」と、これは50代の総括である。タイトル五十音順で紹介しよう。

千住大学ホームページ：
<http://senjudaigaku.okunohosomichi.net/>
ヤフー、グーグルで「千住大学」と検索すれば、アクセスできます。
千住大学：
〒120-0037 東京都足立区千住河原町29-5 千住遊学庵内
Fax 03-3868-3233 / 携帯 090-4730-1286 /
Eメール amenity@soleil.ocn.ne.jp

酒井 憲一
(アメニティ評論家)
1928年生まれ。千住大学学長、東京大学大学院研究員、AMR (アメニティ・ミーティング・ルーム) 会長、NPO法人日本アメニティ研究所専務理事、赤ちゃん学校長、神田川芭蕉の会会長、元朝日新聞記者。
主著『100億人のアメニティ』ちくま新書、『文章の書き方』丸善ライブラリー、『ああメキシコ夜間小学校』『東大アメニティ木材学とウッドヒューマンリレーションズ』ともにアメニティライフ。